

授業科目 教育実習

【担当教員名】 埴 佐敏、森泉 哲也	対象学年	4	対象学科	スポ
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	4	時間数	180
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
	○	○	◎	
【概要・一般目標：GIO】 教職に関する教養、専門に関する教養及び実技などこれまで習得した知識・技能を、実際の教育現場において適用し、教職につくための実践的な知識・技能・態度を養うことを目的とする。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 教育実習の目的と意義を教職科目全体の中で述べるができる。 2. 教育活動の実態から、教師の専門性について述べるができる。 3. 教員が生徒の発達や個性に対応してどのように教育活動を行っているかを観察し把握できる。 4. 学習指導案を作成し、教材研究を行い保健体育の授業を運営できる。 5. 自己の教育活動を授業リフレクションによって振り返り、問題点を明らかにしてその改善策を作成できる。				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	教育実習事前準備（3年次より） ・実習予定校への連絡 その他 教育実習事前指導（1週間） ・実習の目的、心得、学校経営、校務分掌、生徒指導、学習指導、指導案 ・模擬授業 教育実習（3週間） ・観察（諸教育活動、教師の指導、学習環境、学級経営） ・参加（生徒の活動、学級経営、学習指導、特別活動） ・実習（学習指導、特別活動、道徳） ・反省・評価 教育実習事後指導 ・授業リフレクションと発表会（3年次教職志望学生参加）			
【使用図書】	<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他>			
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	学習指導要領解説保健体育編（中学校、高等学校） ステップアップ中学体育、ステップアップ高校スポーツ	文部科学省 大修館書店		
その他の資料	教育実習日誌 教育実習ハンドブック			
【評価方法】 実習校教員・本学教員の所見により総合的に判断する	【履修上の留意点】 本講を受講するためには、 （1）前提となる条件を満たしていること （2）教員になるという強固な意志を有していること （3）教職課程が別に定める手続きを行っていること が必要である 教育実習では、実習生といえども生徒にとって教師の一員であり、そのための最低限求められる知識・技能・態度を身につける強い意欲を有すること。			